

OFFICIAL MICROSOFT LEARNING PRODUCT

# 23346C

Office 365<sup>TM</sup> の ID とサービスの管理

このドキュメントに記載されている情報 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更されることがあります。別途記載されていない場合、このドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものであります。実在する会社名、団体名、商品名、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、個人名、場所、出来事などとは一切関係ありません。お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用をお願いします。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントの主題を対象とする特許、特許出願、商標、著作権、またはその他の知的所有権を有する場合があります。マイクロソフトからの書面による使用許諾契約に明示的に記載されていない限り、このドキュメントの提供により、これらの特許、商標、著作権、またはその他の知的所有権に対する使用許諾が付与されるものではありません。

記載されている製造元、製品、または URL は情報提供のみを目的としており、明示、黙示または法律の規定にかかわらず、マイクロソフトはこれらの製造元や、これらの製品をマイクロソフト テクノロジーと共に使用した場合の動作について保証を行うものではありません。製造元または製品に関する記載は、マイクロソフトがその製造元または製品を保証していることを意味するものではありません。このドキュメントには、第三者のサイトへのリンクが含まれている場合があります。リンク先のサイトはマイクロソフトが管理するものではなく、したがって、リンク先のサイトの内容、含まれるリンク、およびそのサイトの変更や更新について、マイクロソフトは責任を負うものではありません。また、リンク先のサイトから受信する Web キャストまたはその他の伝送形式についても、責任を負うものではありません。これらのリンクは、お客様の利便性を考慮して提供されているものであり、マイクロソフトがリンク先のサイトやそのサイトに含まれている製品を保証していることを意味するものではありません。

© 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft および <http://www.microsoft.com/about/legal/en/us/IntellectualProperty/Trademarks/EN-US.aspx> に一覧する商標は、Microsoft 企業グループの商標です。その他の商標は各所有者の知的財産です。

製品番号 : 23346C

リリース日 : 7/2015

## マイクロソフト ライセンス条項

### マイクロソフト インストラクター指導コースウェア

---

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下、「本ライセンス条項」といいます) は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の所在地に応じた関連会社。以下、「マイクロソフト」といいます) との契約を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。本ライセンス条項は、本ライセンス条項に付属しているコンテンツおよびコンテンツが記録されたメディアのお客様による使用に適用されます。トレーナーコンテンツ、ならびに本許諾コンテンツに関連する更新コンテンツおよび追加コンテンツに、別途固有のライセンス条項が付属していない場合は、それらの製品にも本ライセンス条項が適用されるものとします。それらの製品に固有のライセンス条項が付属している場合は、当該ライセンス条項が適用されるものとします。

本許諾コンテンツにアクセスするか、または本許諾コンテンツをダウンロードもしくは使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合は、本許諾コンテンツにアクセスしたり、本許諾コンテンツをダウンロードまたは使用したりしないでください。

---

お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には取得された各ライセンスについて以下が許諾されます。

#### 1. 定義。

- a. 「認定ラーニング センター」とは、マイクロソフト IT Academy プログラム メンバー、マイクロソフト ラーニング コンピテンシー メンバー、またはマイクロソフトが随時指定できるその他同様の法人を意味します。
- b. 「認定トレーニング セッション」とは、認定ラーニング センターにおいて、または認定ラーニング センターを通じて、トレーナーがマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用して実施するインストラクター指導トレーニング クラスを意味します。
- c. 「クラスルーム デバイス」とは、認定ラーニング センターが所有または管理する、認定ラーニング センターのトレーニング施設にある 1 台のセキュリティで保護された専用コンピューターで、特定のマイクロソフト インストラクター指導コースウェアに指定されているハードウェア レベルを満たすか、または超えているものを意味します。
- d. 「エンド ユーザー」とは、(i) 認定トレーニング セッションもしくはプライベート トレーニング セッションに正規に登録し出席している個人、(ii) MPN メンバーの従業員、または (iii) マイクロソフトの常勤従業員を意味します。
- e. 「本許諾コンテンツ」とは、本ライセンス条項に付属しているコンテンツを意味し、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアまたはトレーナー コンテンツが含まれる場合があります。
- f. 「マイクロソフト認定トレーナー」または「MCT」とは、(i) 認定ラーニング センターまたは MPN メンバーに代わって、トレーニング セッションにおいてエンド ユーザーを指導するために雇用されており、(ii) マイクロソフト認定資格プログラムに基づいてマイクロソフト認定トレーナーとして現在認定されている、個人を意味します。
- g. 「マイクロソフト インストラクター指導コースウェア」とは、IT プロフェッショナルおよび開発者を対象としてマイクロソフト テクノロジーについて指導する、マイクロソフト ブランドのインストラクター指導トレーニング コースを意味します。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのタイトルは、

MOC、Microsoft Dynamics、またはマイクロソフト ビジネス グループ コースウェアとしてブランド化されている場合があります。

- h. 「マイクロソフト IT Academy プログラム メンバー」とは、マイクロソフト IT Academy プログラムのアクティブメンバーを意味します。
  - i. 「マイクロソフト ラーニング コンピテンシー メンバー」とは、現在ラーニング コンピテンシー ステータスを保持している、Microsoft Partner Network プログラムの有効なアクティブメンバーを意味します。
  - j. 「MOC」とは、IT プロフェッショナルおよび開発者を対象としてマイクロソフト テクノロジーについて指導する、マイクロソフト オフィシャル コースと呼ばれる「Official Microsoft Learning Product」インストラクター指導コースウェアを意味します。
  - k. 「MPN メンバー」とは、Microsoft Partner Network プログラムにおけるシルバーまたはゴールド レベルの有効なアクティブメンバーを意味します。
  - l. 「個人用デバイス」とは、お客様が個人的に所有または管理する、1 台のパーソナル コンピューター、デバイス、ワークステーション、またはその他のデジタル電子デバイスで、特定のマイクロソフト インストラクター指導コースウェアに指定されているハードウェア レベルを満たすか、または超えているものを意味します。
  - m. 「プライベート トレーニング セッション」とは、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用して事前定義された学習目的に基づいて指導する、MPN メンバーが企業顧客に対して提供するインストラクター指導トレーニング クラスを意味します。これらのクラスは不特定多数の人々に対して広告または宣伝が行われず、クラスの出席者は企業顧客が雇用または契約している個人に限定されます。
  - n. 「トレーナー」とは、(i) マイクロソフト IT Academy プログラム メンバーが雇用した、認定トレーニング セッションを指導する学問上の認定を受けた教師、または (ii) MCT を意味します。
  - o. 「トレーナー コンテンツ」とは、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用してトレーニング セッションを指導するためにトレーナーのみが使用するよう指定された、トレーナー版のマイクロソフト インストラクター指導コースウェアおよびその他の追加コンテンツを意味します。トレーナー コンテンツには、Microsoft PowerPoint プレゼンテーション、トレーナー準備ガイド、トレーナー育成用資料、Microsoft One Note パック、クラスルーム セットアップ ガイド、およびプレリリース コース フィードバック フォームが含まれる場合があります。言い換えると、トレーナー コンテンツには、いかなるソフトウェア、仮想ハード ディスク、または仮想マシンも含まれません。
2. **使用権。**本許諾コンテンツは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本許諾コンテンツは、**ユーザーごとに複製 1 部**が使用許諾されます。そのため、お客様は、本許諾コンテンツにアクセスする、または本許諾コンテンツを使用する各個人に対して、ライセンスを取得しなければなりません。
- 2.1 以下は、5 組の独立した使用権であり、お客様には 1 組のみが適用されます。
- a. **お客様がマイクロソフト IT Academy プログラム メンバーである場合。**
    - i. お客様自身に代わって取得された各ライセンスは、お客様に提供された形式でマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を確認するためにのみ使用できます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は最大 3 台の個人用デバイスに複製 1 部をインストールすることができます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。

- ii. お客様は、エンド ユーザーまたはトレーナーに代わって取得する各ライセンスについて、以下のいずれかを行うことができます。
  - 1. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版 1 部を、提供しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である認定トレーニング セッションの開始直前に限り、かかる認定トレーニング セッションに登録しているエンド ユーザー 1 名に頒布すること。または
  - 2. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのデジタル版 1 部の一意の引き換えコード、および当該コースウェアにアクセスする方法に関する手順を、エンド ユーザー 1 名に提供すること。または
  - 3. トレーナー コンテンツ 1 部の一意の引き換えコード、および当該トレーナー コンテンツにアクセスする方法に関する手順を、トレーナー 1 名に提供すること。

**ただし、以下の条項を遵守することを条件とします。**

- iii. お客様は、本許諾コンテンツのみへのアクセス権を、本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得している個人に提供するものとします。
- iv. お客様は、認定トレーニング セッションに出席している各エンド ユーザーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- v. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版を提供する各エンド ユーザーに本ライセンス条項の複製 1 部が提示されること、および各エンド ユーザーにマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを提供する前に、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのエンド ユーザーによる使用に、本ライセンス条項の条件が適用されることに各エンド ユーザーが同意することを確認するものとします。各個人が、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスする前に、地域の法律に基づいて強制力を有する方法で、本ライセンス条項に同意する旨を示す必要があります。
- vi. お客様は、認定トレーニング セッションを指導する各トレーナーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるトレーナー コンテンツの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- vii. お客様は、お客様のすべての認定トレーニング セッションに関して、指導しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題であるマイクロソフト テクノロジーについて深い知識と経験を有する有資格のトレーナーのみを雇用するものとします。
- viii. お客様は、MOC タイトルを使用する各認定トレーニング セッションについて、1 週間に提供するトレーニングは最大 15 時間とするものとします。
- ix. お客様は、MCT ではないトレーナーがマイクロソフト インストラクター指導コースウェアのすべてのトレーナー リソースにアクセスできないようにすることに同意するものとします。

**b. お客様がマイクロソフト ラーニング コンピテンシー メンバーである場合。**

- i. お客様自身に代わって取得された各ライセンスは、お客様に提供された形式でマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を確認するためにのみ使用できます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は最大 3 台の個人用デバイスに複製 1 部をインストールすることができます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。
- ii. お客様は、エンド ユーザーまたはトレーナーに代わって取得する各ライセンスについて、以下のいずれかを行うことができます。
  - 1. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版 1 部を、提供するマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である認定トレーニング セッションの開始直前に限り、かかる認定トレーニング セッションに出席しているエンド ユーザー 1 名に頒布すること。または
  - 2. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのデジタル版 1 部の一意の引き換えコード、および当該コースウェアにアクセスする方法に関する手順を、認定トレーニング セッションに参加しているエンド ユーザー 1 名に提供すること。または

3. トレーナー コンテンツ 1 部の一意の引き換えコード、および当該トレーナー コンテンツにアクセスする方法に関する手順を、トレーナー 1 名に提供すること。

**ただし、以下の条項を遵守することを条件とします。**

- iii. お客様は、本許諾コンテンツのみへのアクセス権を、本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得している個人に提供するものとします。
- iv. お客様は、認定トレーニング セッションに出席している各エンド ユーザーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- v. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版を提供する各エンド ユーザーに本ライセンス条項の複製 1 部が提示されること、および各エンド ユーザーにマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを提供する前に、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのエンド ユーザーによる使用に、本ライセンス条項の条件が適用されることに各エンド ユーザーが同意することを確認するものとします。各個人が、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスする前に、地域の法律に基づいて強制力を有する方法で、本ライセンス条項に同意する旨を示す必要があります。
- vi. お客様は、認定トレーニング セッションを指導する各トレーナーが、かかる認定トレーニング セッションの主題であるトレーナー コンテンツの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- vii. お客様は、お客様の認定トレーニング セッションに関して、指導しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報を保持する有資格のトレーナーのみを雇用するものとします。
- viii. お客様は、MOC を使用するお客様のすべての認定トレーニング セッションに関して、指導している MOC タイトルの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報も保持する有資格の MCT のみを雇用するものとします。
- ix. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのみへのアクセス権を、エンド ユーザーに提供するものとします。
- x. お客様は、トレーナー コンテンツのみへのアクセス権を、トレーナーに提供するものとします。

**c. お客様が MPN メンバーである場合。**

- i. お客様自身に代わって取得された各ライセンスは、お客様に提供された形式でマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を確認するためにのみ使用できます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は最大 3 台の個人用デバイスに複製 1 部をインストールすることができます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。
- ii. お客様は、エンド ユーザーまたはトレーナーに代わって取得する各ライセンスについて、以下のいずれかを行うことができます。
  - 1. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版 1 部を、提供しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題であるプライベート トレーニング セッションの開始直前に限り、かかるプライベート トレーニング セッションに出席しているエンド ユーザー 1 名に頒布すること。または
  - 2. マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのデジタル版 1 部の一意の引き換えコード、および当該コースウェアにアクセスする方法に関する手順を、プライベート トレーニング セッションに参加しているエンド ユーザー 1 名に提供すること。または
  - 3. トレーナー コンテンツ 1 部の一意の引き換えコード、および当該トレーナー コンテンツにアクセスする方法に関する手順を、プライベート トレーニング セッションで指導するトレーナー 1 名に提供すること。

**ただし、以下の条項を遵守することを条件とします。**

- iii. お客様は、本許諾コンテンツのみへのアクセス権を、本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得している個人に提供するものとします。

- iv. お客様は、プライベート トレーニング セッションに出席している各エンド ユーザーが、かかるプライベート トレーニング セッションの主題であるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- v. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのハード コピー版を提供する各エンド ユーザーに本ライセンス条項の複製 1 部が提示されること、および各エンド ユーザーにマイクロソフト インストラクター指導コースウェアを提供する前に、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのエンド ユーザーによる使用に、本ライセンス条項の条件が適用されることに各エンド ユーザーが同意することを確認するものとします。各個人が、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスする前に、地域の法律に基づいて強制力を有する方法で、本ライセンス条項に同意する旨を示す必要があります。
- vi. お客様は、プライベート トレーニング セッションを指導する各トレーナーが、かかるプライベート トレーニング セッションの主題であるトレーナー コンテンツの有効なライセンス取得済みの複製を各自持っていることを確認するものとします。
- vii. お客様は、お客様のすべてのプライベート トレーニング セッションに関して、指導しているマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報を保持する有資格のトレーナーのみを雇用するものとします。
- viii. お客様は、MOC を使用するお客様のすべてのプライベート トレーニング セッションに関して、指導している MOC タイトルの主題である、マイクロソフト認定資格の該当する資格情報を保持する有資格の MCT のみを雇用するものとします。
- ix. お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアのみへのアクセス権を、エンド ユーザーに提供するものとします。
- x. お客様は、トレーナー コンテンツのみへのアクセス権を、トレーナーに提供するものとします。

d. **お客様がエンド ユーザーである場合。**

お客様が取得する各ライセンスについて、お客様は、お客様の個人トレーニングに使用する目的に限り、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアを使用することができます。マイクロソフト インストラクター指導コースウェアがデジタル形式である場合、お客様は、トレーニング プロバイダーからお客様に提供された一意の引き換えコードを使用してオンラインでマイクロソフト インストラクター指導コースウェアにアクセスし、かかるマイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を最大 3 台の個人用デバイスにインストールして使用することができます。お客様は、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアの複製 1 部を印刷することもできます。お客様が所有または管理していないデバイスに、マイクロソフト インストラクター指導コースウェアをインストールすることはできません。

e. **お客様がトレーナーである場合。**

- i. お客様が取得する各ライセンスについて、お客様は、認定トレーニング セッションまたはプライベート トレーニング セッションの準備または提供のみを目的として、お客様に提供された形式のトレーナー コンテンツの複製 1 部を 1 台の個人用デバイスにインストールして使用することができます。また、追加の複製 1 部をバックアップ用の複製として別の個人用デバイスにインストールすることができます。かかるバックアップ用の複製は、トレーナー コンテンツの再インストールにのみ使用できます。お客様が所有または管理していないデバイスで、トレーナー コンテンツの複製をインストールまたは使用することはできません。お客様は、認定トレーニング セッションまたはプライベート トレーニング セッションの準備または提供のみを目的として、トレーナー コンテンツの複製 1 部を印刷することもできます。

- ii. お客様は、最新バージョンの MCT 契約書に従って、トレーニング セッションの手順に論理的に関連するトレーナー コンテンツの記述部分をカスタマイズすることができます。お客様は、上記の権利を行使することを選択した場合、以下に従うことに同意するものとします。(i) カスタマイズは、認定トレーニング セッションおよびプライベート トレーニング セッションを指導するためにのみ使用できる、および (ii) すべてのカスタマイズは本ライセンス条項に準拠している。言い換えると、「カスタマイズ」の使用とは、スライドとコンテンツの順序の変更、および一部のスライドまたはコンテンツの不使用のみを意味し、スライドまたはコンテンツの変更または改変を意味しないものとします。

**2.2 構成部分の分離。**本許諾コンテンツは 1 つの製品として許諾されており、お客様はそのコンポーネントを分離し、複数のデバイスにインストールすることはできません。

**2.3 本許諾コンテンツの再頒布。**上記の使用権において明示的に規定されている場合を除き、マイクロソフトの書面による許可なく、お客様が第三者に対して、本許諾コンテンツ (および許可される改変) またはその一部を頒布することはできません。

**2.4 第三者のプログラムおよびサービス。**本許諾コンテンツには、第三者によるプログラムまたはサービスが含まれることがあります。お客様によるこれらの第三者によるプログラムまたはサービスの使用には、当該プログラムおよびサービスに別途固有のライセンス条項が付属している場合を除き、本ライセンス条項が適用されます。

**2.5 追加条項。**一部の本許諾コンテンツには、その使用に関して追加の条項、条件、およびライセンスが適用されるコンポーネントが含まれる場合があります。かかる条件およびライセンスにおいて本ライセンス条項と矛盾しない条項は、お客様による個々のコンポーネントの使用にも適用され、本ライセンス条項に規定されている条項を補完するものとします。

**3. プレリリース テクノロジーに基づく本許諾コンテンツ。**本許諾コンテンツの主題がマイクロソフト テクノロジーのプレリリース版 (以下、「**プレリリース版**」といいます) に基づいている場合は、本ライセンス条項の他の規定に加え、以下の条件も適用されます。

- a. **プレリリース版の本許諾コンテンツ。**本許諾コンテンツの主題は、マイクロソフト テクノロジーのプレリリース版に関するものです。当該テクノロジーは、当該テクノロジーの最終版と異なる動作をする場合があります。マイクロソフトは最終版向けに当該テクノロジーを変更することがあります。また、最終版がリリースされない場合もあります。当該テクノロジーの最終版に基づく本許諾コンテンツには、プレリリース版に基づく本許諾コンテンツと同じ情報が含まれていない場合もあります。マイクロソフトは、当該テクノロジーの最終版に基づく本許諾コンテンツを含めて、追加のコンテンツをお客様に提供する義務を負わないものとします。
- b. **フィードバック。**お客様は、マイクロソフトに対して本許諾コンテンツに関するフィードバックを提供する場合、直接または第三者の被指名人を介して、その方法や目的を問わず、お客様のフィードバックを使用、共有、および商品化する権利を無償でマイクロソフトに譲渡するものとします。また、お客様は、該当するフィードバックの対象となるマイクロソフト ソフトウェア、マイクロソフト製品、またはサービスの特定部分を使用するためのすべての特許権、またはこの特定部分に関連する第三者の製品、技術、およびサービスに必要とされるすべての特許権を無償で第三者に譲渡するものとします。お客様は、マイクロソフトがお客様のフィードバックをソフトウェア、テクノロジー、または製品に取り込んだために、マイクロソフトが第三者からソフトウェア、テクノロジー、または製品のライセンスを取得しなければならないようなフィードバックを提供しないものとします。これらの権利は本ライセンス条項の終了後も効力を維持するものとします。
- c. **プレリリース版の有効期間。**お客様がマイクロソフト IT Academy プログラム メンバー、マイクロソフ

トレーニング コンピテンシー メンバー、MPN メンバー、またはトレーナーである場合、プレリリース版のテクノロジーに関する本許諾コンテンツのすべての複製の使用を、(i) マイクロソフトがお客様に、プレリリース版のテクノロジーに関する本許諾コンテンツの使用期限として通知した日付、または (ii) 本許諾コンテンツの主題であるテクノロジーの完成版の発売日から 60 日後のうちのいずれか早い方の時点 (以下、「**プレリリース版の有効期間**」) で停止するものとします。お客様は、プレリリース版の有効期間の満了時または終了時に、お客様が所有または管理している本許諾コンテンツのすべての複製を回復できないように削除して破棄するものとします。

4. **ライセンスの適用範囲。**本許諾コンテンツは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本ライセンス条項は、お客様に本許諾コンテンツを使用する限定的な権利を付与します。マイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用される法令により上記の制限を超える権利が与えられる場合を除き、お客様は本ライセンス条項で明示的に許可された方法でのみ本許諾コンテンツを使用することができます。お客様は、使用方法を制限するために本許諾コンテンツに組み込まれている技術的制限に従わなければなりません。本ライセンス条項において明示的に許可されている場合を除き、お客様は以下の行為を行うことはできません。
  - 本許諾コンテンツにアクセスするか、または本許諾コンテンツの有効なライセンスを取得していない個人に本許諾コンテンツへのアクセスを許可すること。
  - 本許諾コンテンツに含まれている著作権もしくはその他の保護に関する表示 (透かしを含みます)、ブランド、または識別情報を改変すること、取り除くこと、または不明瞭にすること。
  - 本許諾コンテンツを改変するか、または本許諾コンテンツの派生品を作成すること。
  - 第三者がアクセスまたは使用できるように本許諾コンテンツを公開または提供すること。
  - 本許諾コンテンツを複製、印刷、インストール、販売、公開、送信、貸与、改造、再利用、リンク設定もしくは投稿、または第三者に提供もしくは頒布すること。
  - 本許諾コンテンツの技術的な制限を回避する方法で使用する。
  - 本許諾コンテンツをリバース エンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること、あるいは本許諾コンテンツに対する保護を削除またはその他の方法で妨げること。ただし、適用される法令により明示的に認められている場合を除きます。
5. **権利および所有権の留保。**マイクロソフトは、本ライセンス条項においてお客様に明示的に許諾されていない権利をすべて留保します。本許諾コンテンツは、著作権法およびその他の知的財産に関する法律および条約によって保護されています。マイクロソフトまたはそのサプライヤーは、本許諾コンテンツに関する所有権、著作権、およびその他の知的財産権を所有しています。
6. **輸出規制。**本許諾コンテンツは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本許諾コンテンツに適用される、すべての国内法および国際法 (輸出対象国、エンド ユーザーおよびエンド ユーザーによる使用に関する制限を含みます) を遵守しなければなりません。詳細については [www.microsoft.com/exporting](http://www.microsoft.com/exporting) をご参照ください。
7. **サポート サービス。**本許諾コンテンツは現状有姿で提供されます。そのため、マイクロソフトはサポート サービスを提供しない場合があります。
8. **解除。**マイクロソフトは、お客様が本ライセンス条項の契約条件を遵守していない場合、他のいかなる権利も制限することなく本ライセンス条項を解除することができます。お客様は、本ライセンス条項の解除時に、お客様が所有または管理している本許諾コンテンツのすべての複製の使用を直ちに停止し、かかるすべての複製を削除して破棄するものとします。
9. **第三者のサイトへのリンク。**お客様は、本許諾コンテンツの使用中に第三者のサイトにリンクすることがあります。第三者のサイトはマイクロソフトの管理が及ばないものであり、第三者のサイトのコンテンツ、第三者のサイトに含まれるリンク、第三者のサイトに対する変更または更新には、マイクロソフトは責任を負いません。マイクロソフトは、いかなる第三者のサイトから受信されたウェブ キャスティングまたは

その他のいかなる形式の送信についても責任を負いません。マイクロソフトは、お客様への便宜を図る目的でのみ、第三者へのリンクを提供しています。リンクが含まれていても、マイクロソフトが第三者のサイトを推奨することを意味しません。

10. **完全合意。**本ライセンス条項、ならびにトレーナー コンテンツ、更新コンテンツ、および追加コンテンツに関する追加条項は、本許諾コンテンツ、更新コンテンツ、および追加コンテンツについてのお客様とマイクロソフトとの間の完全なる合意です。
11. **準拠法。**
- a. 日本。お客様が本ソフトウェアを日本国内で入手された場合、本ライセンス条項は日本法に準拠するものとします。
  - b. 米国。お客様が本許諾コンテンツを米国内で入手された場合、抵触法にかかわらず、本ライセンス条項の解釈および契約違反への主張は、米国ワシントン州法に準拠するものとします。消費者保護法、公正取引法、および違法行為を含みますがこれに限定されない他の主張については、お客様が所在する地域の法律に準拠します。
  - c. 日本および米国以外。お客様が本許諾コンテンツを日本国および米国以外の国で入手された場合、本ライセンス条項は適用される地域法に準拠するものとします。
12. **法的効力。**本ライセンス条項は、特定の法的な権利を規定します。お客様は、地域や国によっては、本ライセンス条項の定めにかかわらず、本ライセンス条項と異なる権利を有する場合があります。また、お客様が本許諾コンテンツを取得された第三者に関する権利を取得できる場合もあります。本ライセンス条項は、お客様の地域または国の法律により権利の拡大が認められない限り、それらの権利を変更しないものとします。
13. **あらゆる保証の免責。**本許諾コンテンツは、提供しうる形で現状有姿のまま提供されます。お客様は、その使用に関するリスクを負うものとします。マイクロソフトおよびその各関連会社は、明示的な瑕疵担保責任または保証責任を一切負いません。本ライセンス条項では変更できないお客様の地域の法律による追加の消費者の権利が存在する場合があります。マイクロソフトおよびその各関連会社は、法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する黙示の保証について一切責任を負いません。
14. **救済手段および責任の制限および除外。**マイクロソフト、各マイクロソフト関連会社、およびそのサプライヤーの責任は、5.00 米ドルを上限とする直接損害に限定されます。その他の損害 (派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、および付随的損害を含みますがこれらに限定されません) に関しては、一切責任を負いません。

この制限は、以下に適用されるものとします。

- 本許諾コンテンツ、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ (コードを含みます) または第三者のプログラムに関連した事項
- 契約違反、保証違反、厳格責任、過失、または不法行為等の請求 (適用される法令により認められている範囲において)

この制限は、マイクロソフトが損害の可能性を認識していたか、または認識し得た場合にも適用されます。また、一部の国では付随的損害および派生的損害の免責、または責任の制限が認められないため、上記の制限事項が適用されない場合があります。

# 第 1 章

## Office 365 の準備

### 目次

レッスン 1 : Office 365 の紹介	1-2
レッスン 2 : テナント アカウントの割り当て	1-3
レッスン 3 : パイロットの計画	1-4
レッスン 4 : クライアント接続の有効化	1-5
復習とまとめ	1-7

## レッスン 1

# Office 365 の紹介

## レッスン 2

# テナント アカウントの割り当て

## レッスン 3 パイロットの計画

## レッスン 4 クライアント接続の有効化

### 目次

参考資料.....	1-6
-----------	-----

## 参考資料

### 仮想ネットワーク



**参考資料：**次のツールは、ネットワーク帯域幅を見積もるプロセスに役立ちます。

- Exchange Client Network Bandwidth Calculator  
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=401130>
- Lync 2010 and 2013 Bandwidth Calculator  
<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=401131>

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

Office 365 展開プロセスのこのステージのベスト プラクティスは次のとおりです。

- Office 365 に対する組織のニーズを確実に理解します。
- Office 365 に移行しない社内サービスを識別します。
- パイロット ユーザーとして適切な人を採用します。
- Office 365 への接続をサポートするのに適したインフラストラクチャを保有していることを確認します。

# 第 4 章

## クライアントの計画と管理

### 目次

レッスン 1 : Office クライアントの計画	4-2
レッスン 2 : ユーザー主導型クライアント展開の管理	4-3
レッスン 3 : Office 365 ProPlus の IT 展開の管理	4-4
レッスン 4 : Office テレメトリとレポート	4-5
復習とまとめ	4-6

## レッスン 1

# Office クライアントの計画

## レッスン 2

# ユーザー主導型クライアント展開の管理

## レッスン 3

# Office 365 ProPlus の IT 展開の管理

## レッスン 4

# Office テレメトリとレポート

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

クライアントの正常な展開を妨げる要因としては、不完全なデータ、互換性のないカスタム アプリケーション、および既存の実装から十分かつ重要な情報を収集できずに後で互換性の問題を引き起こすことがあります。

計画やテストが不十分な場合、誤ったプランを展開する場合、またはライセンスが無効になった際にどうなるかを理解していない場合、ユーザー主導型展開が失敗する可能性があります。

管理された展開では、ユーザーをサポートするための完璧な計画を準備し、Office 365 アプリケーションへの移行全体を支援することが重要です。

### 一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

一般的な問題	トラブルシューティングのヒント
すべてのユーザーが同じ第一言語を使用するわけではありません。	各ユーザーが希望する言語でソフトウェアにアクセスできることを確認します。

# 第 5 章

## DNS と Exchange の移行の計画

### 目次

レッスン 1 : カスタム ドメインの追加と構成	5-2
レッスン 2 : メールボックスの移行戦略の推奨	5-3
復習とまとめ	5-5

## レッスン 1

# カスタム ドメインの追加と構成

## レッスン 2

# メールボックスの移行戦略の推奨

### 目次

参考資料.....	5-4
-----------	-----

## 参考資料

### Exchange の一括移行

#### ベストプラクティス

シングル サインオン ソリューションを実装する場合は、少なくとも 1 台の Exchange Server を維持し、Exchange System Manager (Exchange 2003) または Exchange 管理コンソールあるいは Exchange Management Shell (Exchange 2007、Exchange 2010 および Exchange 2013) にアクセスして、オンプレミスのメールが有効なユーザーのメール関連属性を管理できるようにすることを強くお勧めします。Exchange 2007 および Exchange 2010 の場合、維持する Exchange Server には、ハブ トランスポート、クライアント アクセス、およびメールボックスのサーバーの役割がインストールされている必要があります。

### PST 移行



**参考資料:** PST キャプチャについては、次のサイトを参照してください。

Microsoft Exchange PST Capture

<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=321127>

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

Exchange Online と移行を計画する際のベストプラクティスは、次のとおりです。

- Exchange Online への移行パスを選択するときにすべての要因を考慮したことを確認します。
- 考えられるすべての "what-if" シナリオを検討するためにリスクを分析し、各リスクに対処できる移行プランを特定します。
- 移行プランおよび採用プロセスに、構造化された変更管理方式を確実に適用します。
- 特に切り替えに至るまでの間、プロジェクトのスポンサー、経営チーム、管理者、およびユーザーに常に状況を報告します。
- すべてのプロジェクト関係者に十分なトレーニングをおこない、それぞれの業務を確実に遂行できるようにします。

### 一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

一般的な問題	トラブルシューティングのヒント
DNS の更新のタイミング	DNS を更新するための十分な時間を確保します。数分で完了する場合もあれば、数時間かかる場合もあります。
MX レコード	MX レコードを誤って構成すると、ドメイン宛てのメールが配信エラーとなる可能性があります。MX レコードが Office 365 通信エンドポイントまたはオンプレミス メール サーバーのパブリック IP アドレスをポイントしていることを確認します。

# 第 6 章

## Exchange Online の計画と DNS レコードの構成

### 目次

レッスン 1 : Exchange Online の計画	6-2
レッスン 2 : サービス用の DNS レコードの構成	6-3
復習とまとめ	6-4

## レッスン 1

# Exchange Online の計画

## レッスン 2

# サービス用の DNS レコードの構成

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

Exchange Online と移行を計画する場合のベスト プラクティスは、次のとおりです。

- Exchange Online への移行パスを選択するときにすべての要因を考慮したことを確認します。
- 考えられるすべての "what-if" シナリオを検討するためにリスクを分析し、各リスクに対処できる移行プランを特定します。
- 移行プランおよび採用プロセスに、構造化された変更管理方式を確実に適用します。
- 特に切り替えに至るまでの間、プロジェクトのスポンサー、経営チーム、管理者、およびユーザーに常に状況を報告します。
- すべてのプロジェクト関係者に十分なトレーニングをおこない、それぞれの業務を確実に遂行できるようにします。

### 一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

一般的な問題	トラブルシューティングのヒント
DNS の更新のタイミング	DNS を更新するための十分な時間を確保します。数分で完了する場合もあれば、数時間かかる場合もあります。
MX レコード	MX レコードを誤って構成すると、ドメイン宛てのメールが配信エラーとなる可能性があります。MX レコードが Office 365 通信エンドポイントまたはオンプレミス メール サーバーのパブリック IP アドレスをポイントしていることを確認します。

# 第 7 章

## Exchange Online の管理

### 目次

レッスン 1 : 個人用アーカイブ ポリシーの構成	7-2
レッスン 2 : マルウェア対策とスパム対策のポリシーの管理	7-3
レッスン 3 : ユーザーのための追加の電子メール アドレスの構成	7-5
レッスン 4 : 外部連絡先、リソース、およびグループの作成と管理	7-6
復習とまとめ	7-7

## レッスン 1

# 個人用アーカイブ ポリシーの構成

## レッスン 2

# マルウェア対策とスパム対策のポリシーの管理

### 目次

参考資料.....	7-4
-----------	-----

## 参考資料

### メッセージ ヘッダーと Spam Confidence Level

#### ベストプラクティス

Microsoft リモート接続アナライザーのメッセージ ヘッダー アナライザーを使用して、メッセージ内のヘッダーを確認します。

## レッスン 3

# ユーザーのための追加の電子メール アドレスの構成

## レッスン 4

# 外部連絡先、リソース、およびグループの作成と管理

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

- Exchange Online ポリシーは、ビジネス ニーズを反映するように設計してから実装します。
- 保持タグの適用方法およびアーカイブ メールボックスの使用方法を確実に体得するように、ユーザーを教育します。
- スпам検疫を管理するプロセスを実装し、スパム アイテムに注意する責任をユーザーに喚起します。
- メール ユーザーとなる必要のあるユーザーと、メール連絡先となる必要のあるユーザーを識別します。
- メール連絡先を GAL で表示するかどうかを決定します。

### 一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

一般的な問題	トラブルシューティングのヒント
迷惑メールが [迷惑メール] フォルダーに移動されない。	スパムの件名の先頭にメッセージを追加するなど、別のアクションを設定している場合、それらのメッセージは [迷惑メール] フォルダーに移動されません。
スパムが正しくフラグ付けされない。	メッセージが信頼される側のドメインから送信されている可能性があります。

# 第 8 章

## SharePoint Online の構成

### 目次

レッスン 1 : SharePoint サイト コレクションの管理	8-2
レッスン 2 : 外部ユーザー共有の構成	8-4
レッスン 3 : コラボレーション ソリューションの計画	8-5

## レッスン 1

# SharePoint サイト コレクションの管理

### 目次

参考資料 .....	8-3
------------	-----

## 参考資料

### サイト コレクションの計画

#### ベストプラクティス

ベスト プラクティスとして、複数のサイト コレクション管理者を定義することをお勧めします。この場合、追加された管理者は、プライマリ サイト コレクション管理者のバックアップとしての役割を果たします。

## レッスン 2

# 外部ユーザー共有の構成

## レッスン 3 コラボレーション ソリューションの計画

# 第 10 章

## ディレクトリ同期の実装

### 目次

レッスン 1 : DirSync 用のオンプレミスの Active Directory の準備	10-2
レッスン 2 : DirSync のセットアップ	10-3
レッスン 3 : DirSync による Active Directory のユーザーとグループの管理	10-4
復習とまとめ	10-5

## レッスン 1

# DirSync 用のオンプレミスの Active Directory の準備

## レッスン 2

# DirSync のセットアップ

## レッスン 3

# DirSync による Active Directory のユーザーとグループの管理

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

- 適切なプロジェクト計画を策定する。
- フィルターを使用する場合、オブジェクトを同期する前にセットアップする。
- クラウド サービス パートナーと連携する。
- 徹底したキャパシティ プランニングを実行する。
- DirSync インフラストラクチャを構築する前に、Active Directory を修復する。
- 同期する前に、すべての簡易メール転送プロトコル (SMTP) ドメインを確認済みドメインとして追加する。

### 一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

一般的な問題	トラブルシューティングのヒント
DirSync フィルターが機能しなくなった。	Office 365 ポータルまたは Office 365 管理センターは常に最新リリースにリンクされるので、DirSync を最新バージョンで維持する必要があります。ただし、DirSync を新バージョンにアップグレードした場合、既存のフィルターおよびその他の管理エージェントのカスタマイズはすべて、新しいインストールに自動的にインポートされません。ディレクトリ同期を新しいバージョンにアップグレードする場合は、アップグレードした後、1 回目の同期サイクルを実行する前に必ず、フィルターの構成を手動で再適用する必要があります。

# 第 11 章

## Active Directory フェデレーション サービスの実装

### 目次

レッスン 1 : AD FS の計画	11-2
レッスン 2 : AD FS サーバーのインストールと管理	11-3
レッスン 3 : AD FS プロキシ サーバーのインストールと管理	11-4
復習とまとめ	11-5

## レッスン 1

# AD FS の計画

## レッスン 2

# AD FS サーバーのインストールと管理

## レッスン 3

# AD FS プロキシ サーバーのインストールと管理

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

- 必ず、AD FS プロキシ サーバーの使用を計画します。ポート 443 を開放してインターネットから直接 AD FS サーバーにアクセスできるようにするのは得策ではなく、443 を開放すると、すべての外部コンピューターが直接フェデレーション サーバーにアクセスできてしまいます。
- フェデレーション サーバーに、インターネットから直接アクセスできないようにします。インターネットからの直接アクセスは、テスト ラボ環境の設定時、または組織に境界ネットワークがない場合のみ使用します。AD FS プロキシを通じて企業ネットワークに認証されたクライアント コンピューターのみがアクセスできるように、フェデレーション サーバーを分離します。
- 誤った DNS 更新 (特にスプリット ブレイン DNS の場合) を抑制できるように、DNS を準備します。DNS が正しく機能しないと、クライアント コンピューターは AD FS にアクセスできません。
- ネットワーク、ファイアウォール、およびセキュリティの設計に対しては、クライアント コンピューターが企業の Active Directory から認証を受けられるように、細心の注意を払います。
- すべての証明書が、秘密キーを含めてエクスポートされるようにします。これは、既定の Web サイトでは、証明書が機能するために公開キーと秘密キーの両方が必要なためです。

### 一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

一般的な問題	トラブルシューティングのヒント
AD FS サーバーの構成が失敗する。	証明書を正しく構成し、秘密キーを含めてエクスポートされるようにします。

# 第 12 章

## Office 365 の監視

### 目次

レッスン 1 : サービスの中断の分離	12-2
レッスン 2 : サービス正常性の監視	12-3
レッスン 3 : レポートの分析	12-4
復習とまとめ	12-5

## レッスン 1

# サービスの中断の分離

## レッスン 2

# サービス正常性の監視

## レッスン 3 レポートの分析

## 復習とまとめ

### ベスト プラクティス

Office 365 で発生する問題のトラブルシューティングに役立つツールにはさまざまなものがあり、その中で、Office 365 トラブルシューティング ツールは、トラブルシューティングを開始するための最初の診断用ツールとして有効です。